

令和5年度第1回市川町総合戦略会議録

会議名	第1回市川町総合戦略会議
開催日時	令和5年7月14日(金) 15時00分～17時00分
開催場所	市川町役場4階 相談室
出席者	委員：小野康裕、村田敏朗、木村重己、法田尚己、岩木和子、石川伸也、村上和男、小西正弘、喜田美咲 町：岩見町長、藤原副町長、内藤企画政策課長、近藤地域振興課長、木村副課長
会議の議題	1 開会 2 あいさつ 3 協議 （1）令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について （2）令和4年度実施事業及び評価改善等について 4 閉会
会議資料	【事前配布分】 ・令和5年度総合戦略会議委員名簿 ・会議次第 ・市川町総合戦略進捗管理シート ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施計画 【当日配布分】 ・座席表 ・チラシ（市川ペイ、市川まつり、愛アン8-10号、ひまわり背高のっぽコンテスト、ライトトラップ）
あいさつ 町長 事務局	2 あいさつ 本日はお忙しい中、第1回目の市川町総合戦略会議にご出席いただきありがとうございます。この3年余りはコロナにより行事、イベントというものが中止縮小ということで、活気に欠けた時期だったように思います。 5月8日から第5類に引き下げられたことによって、市川町でも休止していました市川まつり、市川マラソン全国大会を実施する方向で進めています。 そういった中で予定をしていました総合戦略の事業についても、影響を与えた部分もあるかとは思いますが、本日は令和4年度に実施した事業の評価等について皆様方からご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 ありがとうございました。まず本日の会議の欠席者の報告をいたします。 連合兵庫西部地域協議会の議長代理の北尾様、住民代表 区長会長の多田様、住民代表の英語講師翻訳家の吉田様、議会から議会議長の長尾様から欠席の連絡を受けております。また今回の会議から出席をいただいております新しい委員様のご紹介をさせていただきます。神戸新聞社 姫路本社神崎支局長の喜田様でございます。

	<p>それでは続きまして会議次第の3の協議の方に入りますが、ここからの進行は小野委員長にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
協議	<p>3 協議</p> <p>(1) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について</p> <p>(2) 令和4年度実施事業及び評価改善等について</p>
委員長	<p>それでは協議事項の1番の新型コロナウイルス関連の交付金事業について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について説明</p>
委員長	<p>この新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の報告についてのご質問、ご意見等あればお願ひします。</p>
委員	<p>最後の農業経営者の物価高騰対策事業の1ヘクタール当たり4万円という数字の根拠はありますか。</p>
地域振興課長	<p>物価高騰で考えると10アール当たり3千円から4千円くらいになりますが、数字的に弾いたものではありません。農機具の更新補助金も十分でないということも考慮して4万円と決めさせていただきました。希望としては5万円の単価設定をしたかったのですが、他の事業との交付金の割り振りの中で4万円とさせていただきます。休耕田も含めた農地保有面積を対象にしており、作物に関係なく今年度の営農計画書の面積に応じて配分する予定です。</p>
委員	<p>いつ頃入る予定か。</p>
地域振興課長	<p>営農計画書の集計が終わり次第こちらから対象面積、補助金額等を通知し、申請書を頂いた方から農機具、農業施設に活用していただくということで、8月ぐらいをめどに送らせていただく予定としております。</p>
委員長	<p>市川ペイはこれからですか。</p>
事務局	<p>7月1日から順次配達しています。</p>
委員	<p>取扱店は昨年に比べてかなり絞られたのですか。それと大型店舗は外されたのでしょうか。</p>
事務局	<p>取扱店舗は町内の店舗及び商工会に加入されている店舗で、昨年とはほとんど変わっていません。同じように大型店舗も入っています。</p>
委員長	<p>他市町では大型店舗等は除外している所が大半なのですが市川町は含めています。</p>
委員	<p>大型店舗が対象になっていると、そこに集中してしまっただけで地元の取扱店での使用が少なくなってしまうのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>商工会の立場で言うと市川町には商店が非常に少ないので、そこだけに絞ってしまうと商品券の利用価値が下がってしまいます。町内業者でお金を循環させないと駄目じゃないかっていう意見は当然ありますが、現状の中では致し方ないということでご理解願ひします。</p>
	<p>続きまして2番目の令和4年度実施事業及び評価改善等について事務局より</p>

<p>事務局 委員長</p> <p>事務局</p>	<p>説明をお願いします。</p> <p>令和4年度実施事業及び評価改善等について説明。</p> <p>続いて本日欠席されています委員から、ぜひこの会議の場に参加したいということで意見書を頂いていますので事務局より紹介させていただきます。</p> <p>まず資料の21番をご覧ください。ひまわりについてです。</p> <p>ひまわりを市川町のイメージにしているのであれば、広大なひまわり畑のようなものを作った方が、観光客や外部の人が集まりやすいと思います。そのような場所があってこそひまわりを使った製品を販売する意味が出てくると思います。マスコットが「ひまりん」でもありますので本格的にひまわり関連のプロジェクトを進めていくべきです。</p> <p>続きまして35番をご覧ください。</p> <p>学校給食費の関係です。学校給食費を町が負担すると書いてありますが地域の人からよく聞くのが、中学校の残食がかなり多いということです。食べ残しが多いと誰が給食費を負担しようとお金の無駄になります。食べ残しを減らすための対策や案はあるのでしょうか？もし食べ残しが多いのであれば、その食べ残しをただ単に捨てるだけではなく、有効活用できないのでしょうか？今までに聞いた意見の中にはブタ小屋を建てて、食べ残しを餌として与えるのはどうか。私はコンポスト施設を設置し、肥料に変えて、地域の農家さんに作っていただくことをイメージしています。この2点について意見をいただきました。それと資料とは関係ないのですが4点市川町について提案をいただいています。</p> <p>まず一つ目にインフラについて、人がよく使う道は綺麗に整備してしまうことを優先すべきだと思います。人が通りやすい道にすることで交流人口が出入りしやすい場所になりますし見栄えも良くなります。瀬加地区で行われているインフラ整備を他の地域でもされる予定があるのかが気になります。</p> <p>二つ目は公園についてです。子育て中のお母さんが公園に行くためにわざわざ福崎町や神河町へ行かれています方もいらっしゃいます。スポセンの公園は見えないし、上がらないとあることさえわからない。</p> <p>道から見えて、子供たちが遊んでいる様子がうかがえる場所に公園があれば町の印象も良くなると思います。</p> <p>三つ目はもっと飲食店やお店を増やすことについて、市川町は土地面積が大きい割にはお店があまりない印象です。神河町などは飲食店がすごく多いです。</p> <p>市川町のマックスバリュ、ローソン周辺をもう少し整えて小さなお店が並ぶようにはならないでしょうか？</p> <p>四つ目です。リサイクルセンターについて、新しくできるゴミ処理施設の隣にリサイクルセンターも設置していただきたいというお声もあります。</p> <p>単にゴミを燃やして終わりではなく、使える物を分別してリサイクル、もしくは無料で提供すると環境にも優しい。例えば丹波の春日町では廃油石けんを作っていたり、まだ使えるゴミは無料提供したり、自転車の場合は500円で販売しているそうです。環境を考えた活動は、世間的にも注目を浴びるので市川町</p>
-------------------------------	---

<p>委員長</p>	<p>のイメージにもいいと思います。ぜひ町を挙げてやっていただきたいと思います。以上です。結局市川町に暮らしている方自身が市川町をもっと良くしたいという思いを持っていただきたいです。市川町がどうやったら魅力的になるのか各人で考えてできる範囲で行動していただきたいです。役場だけが動いたり、個人だけが動いても変化は見えにくいのでそれぞれ協力して支えながら市川町をもっと栄えさせるという方向でともに発展できればいいと思います。というご意見をいただいたので紹介させていただきました。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>このことに関してまず二つ質問がありました。ひまわり畑をもっと盛大にするのがありましたので地域振興課長お願いします。</p> <p>21 番ですが、ひまわり背高ノップコンテストとか子ども達がひまわりを植えるなどをいろいろ取り組んでみたり研究もしました。ひまわりで有名なのは佐用町と小野市ですが 2 番煎じでやってもなかなかうまくいかないというのがありますし、他市町のまねをしてもどうかっていうのがあります。南光町の施設を見学して油を搾るところも見させてもらったが、なかなか採算が取れません。また、面的に整備するのは特定の地域の方がすごく大変な目に遭います。ひまわりは背が高いので、刈り取って鋤きこむってなると、トラクターに巻き付いたりするのでとても大変です。</p> <p>鶴居区でも 10 年ぐらい前に試験的にやりましたが、なかなか継続するのは難しい。議員からも「市川町の町花なのに全然咲いていない」という声も聞きますので、市川町に入った途端、どこの家にもひまわりがある、どの家の庭にもひまわりが咲いているのを目指して、各家庭に種を配布し、みんなが植えれば町内にひまわりが増えるのではないかという事で取り組んでいます。また、背高ノップコンテストについても今年度も開催しますので、多数の参加をお願いします。</p>
<p>委員長 地域振興課長</p>	<p>はい、ありがとうございます。もう一点の学校給食関連はいかがですか。</p> <p>地域振興課も関係するので少し説明させていただきます。豚を飼って餌にするのは良い発想だと思います。ただ給食だけで豚を飼育するのは難しいのではないかと思います。えさを定期的に供給できるかどうか？給食の残食だけで足りるのか？足りない分は購入しなければならないとかで、ちょっと難しい部分もあるのかなと。アイデアとして無駄にしないという発想はとても良いと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>根本的なところは残食が多いということですが、本当に残食が多いかはわからないですね。</p>
<p>委員</p>	<p>私が現役の時は各学校の先生方、PTA の方も参加して年に 2 回ほど給食運営委員会を開催していますので、残食のデータも出ていたと思います。</p> <p>例えば今日 1 人唐揚げ 3 個、何々野菜とかあったら、それぞれ同じ分量を配膳するのが普通なのですが、でもそれは子どもの食べる量が違うので食べない子はしんどい思いをしている子もいると思います。また、もっと食べたいと言う子もいるから私自分が勤めていた時は自己申告制にしていました。</p> <p>おかわりでも自己申告で自分がこれだけ食べるって言ったら、子どもはみんな</p>

	<p>な食べてしまいます。自己申告制にしたら残食はほぼないです。</p> <p>それに給食センターの方は、各学校の残食量を把握されて、運営委員会の場で資料を提示されていたから学校での給食指導に繋がっていると思います。</p>
委員長	<p>この件は多分いろんな要素を含んでいて、学校の教育的な話もあれば、給食の味の問題もあるかもしれないし単純な問題ではないような感じもします。</p>
委員	<p>給食センターの栄養士さんは世界の料理を出す期間があったり、子ども達から給食の要望を聞いたりして作られていると思いますので、意見は現場に返して先生たちも指導されているはずです。</p>
委員長 企画政策課長	<p>今は答えが多分出ない話だと思いますが、担当課はどこになりますか。</p> <p>こども教育課になります。実態がどうなっているのかわからないのですが、このような意見があったということや岩木先生が言われたような案もありますので、これについては創生本部会議で議論したいと思います。</p>
委員長	<p>この会議の趣旨が市川町の人口減の進行を食い止めるというのがテーマなので、そういう意味でも学校給食は美味しいものでないといけないと思います。</p>
町長	<p>中学校の給食がたくさん残っているのか実態をきちっと調べないとわからないのですが、過去に残ったものを堆肥化する機械があるので、それを導入して堆肥化したらどうかという提案がありました。そのときに費用対効果を考えるとそんなにたくさん残ってなくて、肥料にするほど集まらなかったもので一時見送った経緯がある。実態がどうなっているかをまず調べてみないとわからないと思います。</p>
委員長 地域振興課長	<p>これに関しては一旦預けるっていう形でよろしいですか。</p> <p>個人的な話になりますが 7 年ぐらい前に市川町から相生市に引っ越した時に子どもが 5 年生、3 年生、幼稚園の時に相生市の給食は量が少なく、美味しくなくて言うたんです。市川町の給食は美味しいかと聞いたら当時は何も思わなかったけど、とても美味しかったと言うてました。</p> <p>味に関しては、市川町の給食センターの職員の方はすごく自信と誇りを持たれて作られているので、残食については量が多いのかもしれないが多分味じゃないと思います。</p>
委員	<p>私も中学生の子どもがいるのですが、加西市ではその日の給食の写真を撮ってホームページに掲載していますので、親がいつでも見ることができます。今日は唐揚げ 1 個しかなかったとか、野菜ばかりで素材の味しかなかったという言葉もありますし、親に見えるようにしていれば魅力的な発信になると思います。</p>
委員長	<p>吉田さんの意見に対してほかに何かありませんか。無ければ全体説明いただいた中で委員さんのご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>お手元に但陽信用金庫の令和 4 年度のディスクロージャーと「加古川市施設認定し発信」と書いてある赤ちゃんの駅の新聞記事を紹介のためにお持ちしました。</p> <p>このディスクロージャーの 9 ページですが、情報発信拠点である動く小さな市川町への協力ということで地域活性化支援の一環として紹介をさせていただ</p>

<p>企画政策課長</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>いております。</p> <p>ゴルフアイアンの発祥の地ということで市川町をPRするということなのですが、過去には市川町のゴルフまつり実行委員会で町、商工会、但陽信用金庫、地元のアイアン業者、にゆうにゆう工房さん等が参加してゴルフまつりを年に一度開催して盛り上げていこうということで進めていましたが、コロナ感染症の影響で開催は難しくなりました。今は各小学校の試打体験を地域振興課と一緒に開催しています。いろんな場所に出向いてPRをしています反響がとても良いと聞いていますし、いろんなところのトーナメントや名門ゴルフ場に行かれてPRができるということ、いろんなゴルフの関係者と話ができるということで、うちにも来てほしいという話をよく聞きます。</p> <p>トラックには女性の方が2人専属で乗ってPRしていますが、近辺のゴルフ場のイベントに行っても実際にゴルフをしている方に試打してもらってはどうかと思います。当行と提携している生野高原カントリークラブ、加古川ゴルフクラブ、加西インターゴルフクラブ、白鷺ゴルフクラブの四つのゴルフ場を紹介させていただきますので、今後もこういうふうな取り組みをする場合や、何かイベントがあった場合は、お伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>次に赤ちゃんの駅というのがありまして、これは東京都の板橋区が発祥ですが、この近隣では加古川市、稲美町、播磨町、加西市がこの赤ちゃんの駅を登録して発信しています。これは子育てをされている方が出かけられたときに商業施設等でオムツ交換台とか授乳スペースが設置されていることが分かるようにステッカーで表示するものです。この度甘地駅と鶴居駅にトイレが新設されました。そこの多目的トイレにもオムツ交換台等が設置されていますので、そのようなところを赤ちゃんの駅として登録することができます。そういった施設に働きかけて登録をしていただき、市川町がそれを認定することによりステッカーを施設に張って、ここは赤ちゃんの駅として自由にオムツ交換ができることがわかるように情報発信をするものです。事業費は多くかからないと思いますので、ぜひ参考にさせていただきたい。</p> <p>もう一点、進捗管理19番の若者遠距離通勤者助成事業ですが40歳以下で通勤距離が50キロ以上の方を対象に3000円支給、JR利用者には2000円上乗せ補助については消防団にもチラシを配布してPRしたということですが、申請数は少ないという事で5年度は条件を緩和したということで、以前に別の市町で同じ事業をされたのですが結局1~2年で廃止になりました。多くの会社で交通費の支給がある中でそれにプラスアルファ支給ということですが、どういふ方を対象に補助していきたいのかお聞きします。</p> <p>実際に通勤手当はサラリーマンなら支給があると思います。移住促進というより、どちらかという定住促進のための施策になります。できるだけ遠距離通勤されている方に町外、特に姫路方面に出てもらわないように、少しでも流出を食い止めたいということで、取り組んでいる施策の一つです。</p> <p>予算が144千円ですので費用対効果があるのか少し疑問に思いましたので、今後の利用状況を見ながら事業の検証をしていただけたらと思います。</p> <p>市川高校は私立高校ですが、私学によっては遠距離通学の交通費補助をして</p>
-----------------------------------	---

	<p>いる学校もあります。やはり私学も選んでもらわないといけないという事情があり、食堂のPR なんかもして、そういうものも含めて市川高校を選んでもらいたいというようなPR をしているのですが、その一つとして遠距離通学の生徒の補助をしている学校もあるので、市川高校も同じようにしてはどうかという意見が出るのですが、生徒数が非常に減っている中でそういう施策は難しいと考えています。市川高校に来てもらって市川町の良さを知ってもらって、そして市川町に住みたいというような流れになれば一番良いと思いますが、遠距離の補助がそういったものに繋がるのであれば非常にありがたいと話を聞いていて思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>人口を食い止めるためのバラマキの施策でうまくいったケースが記憶に残っていないのが正直なところで、なかなか難しい課題ですからそう簡単にはいかないと思います。いつも同じことを言いますが市川町はどれがメインとしてメリットを出していくのかがはっきりしていないと思います。近隣市町の同じような政策を追っていて、市川町の特徴が見えなくなっている気がします。何をメインの施策としてやっていくのか、予算的には厳しいですから、あれもこれもするわけにはいかないので市川町に来てもらったなら何がメリットなのか、何が住みやすいのかってということがやっぱり一番大事になってくると思います。他にご質問ご意見ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>18 番の若者向けの住宅取得等の支援ですが、令和 4 年度の実績がプラスになっているのは何か理由とかを検証されているのか。プラスになっている移住者の方は、近隣の市町からなのか、または県外から市川町に移住されたのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>住民環境課が担当になりますが検証したかどうかは確認が取れていません。内訳ですが4年度についてはここに書いてある通り町外からの新規移住とUターンで10件、町内の方が新しく家を建てたり、中古の家を買われた方が7件になります。</p> <p>2年度11件の内訳ですが新規移住とUターンが5件、町内の方が6件。3年度については新規移住・Uターンが7件、町内の方が4件となっています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>ということは急激に増えたわけではないようですね。</p> <p>移住だけでみると5件、7件、10件となっていますので少しずつ増えていると思います。詳しい理由等については住民環境課に確認をさせていただきます。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他に何か質問ないですか。</p> <p>前に東こども園に行くことがあって、子ども達や保護者の様子を見ていたのですが、その中で一番気になったのが九州で離乳食のリンゴのすり潰しを食べて亡くなられたというニュースのことです。</p>
	<p>離乳食はそれぞれの家庭によって、また子どもの月数によって違うので東こども園の園長と副園長に市川町はどうなっているのか聞いてみたのですが、私も調べました。</p> <p>すり潰しでも厚生労働省では必ず加熱しないといけないという文章が出ていますので、先生に聞いたら1歳過ぎてからはちゃんと薄く切ったものが配布されるけど、それ以外はこの園の中で処理していますと聞きました。必ず子どもを受け入れるときにはアレルギーとか、離乳食はどういうものを食べているの</p>

	<p>か確認をすることがとても大事です。</p> <p>それからこども園はとても素晴らしい園舎でしたが、園舎で何か問題があるか聞いたら避難訓練をしたときに出入口が園舎の真ん中であって、その両端にサッシがあるがとても狭くなっている。これが一番問題なのです。台風や地震の大災害が各地で起きているので、教育委員会としっかり話し合って対策しないといけないと思います。</p> <p>少子化の中で、令和5年度の園児の人数が最高で今後はどんどん減っていくと思いますが、スポーツセンターの公園に行ったときに親子でたくさん遊んでおられるので、その時に聞いたのが子どもを産むまでの妊婦健診は町から補助があるので良いが、子どもを産んだ後の費用が高くて大変だっという話をよく聞きます。産んですぐにチャイルドシートやベビーベッド、ベビー布団がいます。また、もう少し大きくなるとチャイルドシートからジュニアシートに変わるし、ベビーカーもいます。社会福祉協議会で高齢者にはそういうリースはありますが、子どもたちに対してはそういったリースがありません。例えば、保健センターには健診や注射や子育て相談で行かれるから、社協にみんな持ち寄っていただいて不定期で貸し出しをすればよいのではないのでしょうか。</p> <p>調べていただいたらわかると思いますが明石市ではこういった貸し出しをしていると思いますが、市川町もどこかでそういう場所を作っていただいたら子育て世帯にはとても助かると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>費用をかけなくても出来ることはあるっていうことですね。昔の総合戦略会議でも話したのですが、亡くなったペットを火葬しても遺骨を持って帰れない。今はペットの遺骨を持ち帰りたい方々が増えてきていますので、そういったことができるだけでも町の住みやすさのレベルが上がると思います。</p> <p>若い方でもリサイクル品に抵抗がなくなってきていますので、ベビー用品の貸し出しについては予算をかけずにできる施策ではないのでしょうか。</p> <p>そういった施策の集約も住みやすいまち作りの中で考える必要があるのかもかもしれません。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>この遠距離通勤補助については、この補助があるから市川町に定住したいと思うことは確かにはないと思います。新しく生まれてくる子どもが少ないのであれば、この通勤補助の分をベビーカー等の購入補助に使ってもよいのではないのでしょうか。貸し出しすると管理する場所や管理する人が必要になるので、そこに経費が大きくかかってくる。また、貸し出しすると返してもらった時には掃除もしなくてはいけないので人件費がかかる。また、全額購入補助にした場合、買ったものを転売する可能性もあるので、町としては手を出しにくいと思います。しかし、これからの市川町を担っていく大事な子どもたちなので、ベビーカー等に対しては何らかの補助を考えていくべきだと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今後の補助のあり方について、見直しも考えていけないのかもしれないかもしれません。補助の出し方については今までの形とは違う方向で考える方が市川町の特徴を出しやすいのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>情報発信拠点トラックについては、知事も気にいっているので県の事業にも色々来てPRしてほしいと考えていますし、これについては成功事例だと思</p>

	<p>っています。大阪万博にも来てほしいという声もありますので今後検討されるかもしれません。個人的には福崎東洋ゴルフ倶楽部で9月に姫路オープンゴルフがありますし、姫路シーサイドでスナッグゴルフ大会が開催されます。そこには親子がいっぱい来られますので、トラックを持って行ってはどうかと思います。私は姫路ゴルフ協会の相談役でもあるので、何かあれば協力させていただきます。</p> <p>それと一点だけ知りたかったのは15番の市川ハウスについてですが、吉本興業と協力しての交流拠点施設については、市川町として公の施設としての交流拠点施設なのか、単に協力してもらっているだけなのか、参考までに後で教えてください。これは市川くんという個人が買ったものという理解をしていたので、それを町が交流拠点として使えるのであれば中播磨県民センターとしても町と一緒に活用していきたいと思いますので、この辺の位置づけをまた教えていただきたいと思います。</p> <p>それから26番の教育環境の整備・充実で事業の進め方をどういう形で進めておられるのか、数字を見たときに予定額と決算額にかなりの開きがあるので、長期計画と進行管理の進め方を教えていただきたい。</p> <p>それから32番の県の特定不妊治療助成が終了という話ですが、県知事も説明はしていたと思いますが、県としては医療費の助成からその前段の検査助成の方にシフトさせていただいております。正直言うと男性は検査に行きたがらない。不妊は女性の問題だというふうな発想がまだ根強くあって、そのあたりはちゃんと夫婦で不妊検査に行くということを前提に舵を切ったものです。県の政策の流れみたいなのを記載していただければありがたかったですと感じました。</p> <p>それから47番の生活排水処理事業の推進ですが市川町は県内でもかなり排水処理率が低いので、町民の方にご理解をいただいてやっていかないと移住定住の話をするときに、生活排水処理で下水道が整備されている、されていないというのはとても大事です。基本インフラとして財政基盤が厳しいとか、いろいろあるとは思いますが、できる限り後回しにせずにやっていかないと、他市町が進んでいる中で市川町はどんどん遅れてしまいますので下水道普及について推進をよろしくお願いいたします。</p> <p>排水処理については令和10年に南部処理区の工事が完了します。そうなるこの地域は下水道100%のエリアになります。令和10年で99%とはいかないにしても95%の計画で進めています。ただ遅れているのは事実なのですが、中部処理区も今年度でほぼ完了しますので公共下水のエリアほぼ100%になります。</p> <p>委員 副町長 委員</p> <p>公共下水ではなくて生活排水全面ではどうですか。</p> <p>公共下水エリアは良いが、合併浄化槽の区域が足を引っ張る形になります。移住される方は街中ではなくて、少し自然豊かな町内のエリアを選択される方が多い。合併浄化槽区域は排水処理率が低い、公共下水道区域は処理率100%達成しているという説明が移住される方にどう響くのかを考えた方がいいのではないのでしょうか。</p>
--	--

<p>事務局</p>	<p>26 番の教育環境の整備充実の予算の質問ですが、予算に対して実績値が高いとか低いとかでばらつきがあるということですが、資料を確認しますと予定額については当初決めた予定額そのまま記載しています。特に令和2年度の決算額は飛び抜けて大きいのですが、これはコロナの交付金が交付された関係で各小・中学校にタブレットを配布したので金額が上がっています。</p> <p>令和3年度については予算に対して倍ほど使っているのですが、これについても同じく交付金を活用してデジタルドリル、タブレットのバックを購入したものです。在宅でのタブレット使用に対して交付金を配分したので予定よりも多くなっていると考えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>商工会会長の立場で言うと市川町商工会の会員は県下の中でも会員の加入率が80%を超えており、非常に高い加入率になります。しかし、会長になって中身はどうなのか調べると70歳代以上の経営者が全体の35%、60代が25%、合計で60%が高齢者の経営者になります。ということは10年後に市川町商工会の会員がどれだけ残っているのか。高齢経営者60%のなかで後継者がいるところは指折り数えるしかないのが現状です。吉田さんの意見の中にも商店を作ればという話もありましたが、このままいくと市川町の人口減少よりも先に商工会の会員が減少していきます。市川町に移住して生活していく中でお店が無くなっていく現状がもう10年以内にやってくると思います。そういう中で商工に関する政策が緊急課題でもありますが、市川町は商店というよりも職人さんが多い地域ですから、会員さんが380数名でもお店として構えている方は本当に少ない状況ですので今後深刻な問題になってくるだろうと思います。移住定住を考える中では大きな課題として今後捉えなければいけない問題です。何か最後に意見あればどうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>今年になって認定農家の方が2名続けて引退されました。瀬加地区では放棄田が増えてきた関係で耕作について応援に行っているが、地域の方の協力がないうり耕作はできないし作物も限定されてきます。水稻を作付したいが水が来ないところに何を作付すればいいのか、今牧草をしているところに麦をしてもダメだし、豆を作ろうと思っても日当たりが悪い、また排水が悪いという農地がいっぱいあります。そういった田んぼをどうやって管理すればいいのかとう問題がある中で瀬加地区に限らず農地の管理方法やその役割分担をみんなで考えてもらいたいという思いがあります。いろんな面で農業者に補助があるので助かっているのですが、経営自体はかなり厳しいですし、担い手として農業をしていく人が出てきてもらいたい。</p> <p>それともう1点は、他の地区から来られて市川町の農地を耕作されている担い手の方については、地域の方々とコミュニケーションがうまくとれていない、管理がうまくできていないのではないかと考えます。瀬加地区だけではなく市川町として今後農地を誰がどのように守っていくのかをみんなで検討していただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>農地も空き家も今の子ども対策も全部関係していることだと思いますし、できるだけ市川町の特徴を出せるようなまちづくりができるように願っています。時間となりましたので何もなければこれで私の役割は終わらせていただい</p>

企画政策課長	<p>て、事務局の方に戻したいと思います。</p> <p>小野委員長どうもありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、岩見町長より閉会の挨拶を申し上げたいと思います。</p>
町長	<p>本日はそれぞれの項目について、いろんな問題点や指摘事項をいただきありがとうございました。次の総合戦略計画については令和8年に計画策定することになっており、今回ご指摘をいただいたことを次の計画でどう盛り込んでいくのかということが、今後2年の課題になってくると考えます。私が次のことを考えるより、新しい町長の下で次の5年間、10年間の計画を作っていくことが大事だと考えます。</p> <p>この48項目についてはおおむね60%は実現できたと思います。ただし、少子化対策については歯止めがかけられませんでしたので、令和8年度の新しい計画に盛り込んでいただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。</p>
企画政策課長	<p>次回の戦略会議につきましては来年2月頃に開催をしたいと考えております。年度末でお忙しいとは思いますが、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は長時間にわたりどうもありがとうございました。</p>